

手のひらサイズから大物まで、 多彩に柔軟に対応

～産業機械や自動車部品等の設計・製作を手掛けるメーカー～



株式会社 天木鉄工

代表取締役社長

天木 一喜氏

- 住所：大垣市領下町1-43
- TEL：0584-81-1155(代表)
- URL：<http://www.amaki-mw.co.jp/>
- 事業内容：【切削・研削加工】
自動車、冷熱、輸送機器、産業機械部品
【設計・製作・修理】
産業機械、省力機械、工作機械、各種治具
- 従業員数：250人(2025年1月現在)

■ 2本の柱は 産業機械事業と冷熱・車両部品事業

聞き手：まずは御社の事業内容について教えてください。

天木社長：まず、大きく分けて「産業機械事業」と「冷熱・車両部品事業」と2つを手掛けています。まず産業機械事業は、いわゆる「大物の機械加工」、つまり工作機械のテーブルの部分であったり、射出成型機やダイカストマシンなどを構成する1mを超える部品の切削加工を行っています。さらにそれらの部品を組み立てて、装置としてお客様にお納めするという、設計製作から組立までやっている事業です。

冷熱・車両部品事業については、一般的なエアコンのコンプレッサの部品から、オフィス等で使われるパッケージエアコン、工場を広く冷却するようなターボ冷凍機などを手掛けています。納入先の方から聞いたところ、イビデンさんの新工場にも使っていただくようです。

聞き手：なるほど、工場にある大きな空調設備ですね。ありがとうございます。ちなみに国内にいくつか工場がありますが、作っているものが違うのですか？

天木社長：はい、それぞれ別のものを生産しています。当社にはもともと集団就職のような形で九州や東北出身の社員がいることもあり、また大分県から誘致もいただきましたので、1993年、日田市に工場を建設しました。この数年では北九州市にM&Aで関連会社を2社スタートしています。

■ 創業は戦中、数名での町工場から

聞き手：次は御社の歴史についてもお聞かせください。

天木社長：私の祖父が個人事業主として、兄弟を含む数人とともに町工場を創業したのが始まりです。それが昭和16年(1941年)のことで、戦時中にはその工場も被害を受けましたが、戦後にまた同じような工場をやり始めました。1945年頃といえば、全国各地に三菱重工業(株)の疎開工場がたくさんあり、大垣市には「十六製作所」と呼ばれる工場がありました。今はもう場所も定かではないですが、その工場や、名古屋エリアにあった工場ともお付き合いをしながら成長させてもらいました。お取引先がいろいろな業種の仕事を手掛けておられたことから、自動車の部品も手掛けさせていただくことになりました。

聞き手：webサイトを拝見すると「多様性」、「自己完結」、「機動性」、「柔軟性」という4つの言葉が登場します。

天木社長：まず「多様性」は、手のひらサイズの小さなものから、一番大きいところでは7トン、8トンといった部品まで広く取り扱っています。そういう工場は全国的に見ても珍しいので、どのようなお客様からお声掛けいただいても対応できるようにすることを大切にしています。

「自己完結」については、機械加工に使われる治具であったり、洗浄機、さらには手入れを自動化してくれる装置などを自社で設計・製作するようにしています。

「機動性」については、全工場が昼夜稼働していること



(左写真)
【技術・知識の蓄積】
社員の50%(技術職の80%)を超える
国家技能検定の有資格者が在籍する技
術集団

(右写真)
【五面加工機の加工風景】
五面加工機 11台、その他 NC工作
機械 合計300台を保有しあらゆる産
業界の機械加工に対応

が挙げられるかと思いますが。ただ、働き方改革もあり、働き方のスタイルは変わっていくのかもしれませんが。

「柔軟性」については、どこかの子会社ではないので、幅広くお仕事をさせていただいていることですね。たとえばイバル企業の仕事でもお引き受けしますから。

聞き手: 7トン8トンともなると、どれくらいの大きなのか想像もつきません。

天木社長: 当社で扱う中でも大きいものという、例えばプラスチック成型機の金型を載せる台等になりますが、稼働時には1,000トンもの圧力を受けることになります。大きさも1mは超えますが、それでも業界では「中型機」の範囲です。いわゆる「大型機」は3,000トンの圧力を受けることになり、盤面は30トンもあります。そこまでの大型は取り扱っていません。取扱いの範囲内であれば、どんな大きさのものでも、お客様からの図面をもとに現物に仕上げる、ということになります。

■ “合格のさらに上”を目指す風土

聞き手: 今日訪問させていただいた時に、1階の廊下には国家検定合格者のお名前がたくさん掲げられていました。やはり会社として、人材育成の部分には力を入れておられるのでしょうか。

天木社長: 国家検定技能士の取得を奨励していますね。2級、1級、特級とあり、取得すれば給与の面でもプラスになるようにしています。受検の際には先輩社員が指導しますが、中には「絶対合格したいから」と時間外に何度も練習する社員もいます。

検定では、成績優秀者に知事賞や協会賞が出ます。おかげさまでこの数年、ある部門では当社の社員が受賞していますので、それを狙っている社員もいますね。

聞き手: 合格のさらに上を目指すという、モチベーションの高い方がいらっしゃるんですね。まさに「プロフェッショナル」を育てることを大切にされているんですね。

天木社長: そうですね。我々製造業は採用も難しい部分がありますので、拡大というよりはスリム化しながら、今いる社員には新しいことにどんどん挑戦してもらおうようにしてい

ます。やはり新しい技術を身に付けたいと考えている人のほうが大きく成長していきますね。

ちなみに、昔から車が好きでしたから「あの車種の部品の仕事ができる」と力が入ることがよくありましたが、最近は若い社員にそれを言ってもあまり響かなくて。そこは以前とは大きく違いますね。

聞き手: 確かに、オープンカーやスポーツカーにしても、車を楽しんでいる人は年配層のほうが多いような気がしますね。では、今後力を注がれる部分についてはいかがでしょうか。

天木社長: 現在は関東から九州まで広く営業展開をしていますので、その中で新しいお客様を開拓していくことですね。要望に幅広く対応できるという強みを活かして、どんなお客様にも対応していきたいですね。

聞き手: 最後になりましたが、休日はどのように過ごされているのでしょうか。

天木社長: 飼っている犬が13歳で、だいぶ年老いてきましたので、その面倒を見ていることが多いですね。室内飼いで中型犬なんです。愛車も犬を乗せるために選んでいるところがあります。

仕事上、車は取引先の関係で購入するケースも多いのですが、外国車でも、トランスミッションやターボチャージャー等は日本のメーカーが供給していたりします。日本のメーカーには素材の技術の高さがありますから。

それから、普段は工場のある九州の話をしていることも多いですね。工場からは由布院温泉が近いですが、山を越えれば黒川温泉もありますので。

聞き手: 温泉が近いのは良いですね。本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員

イビデン(株)

経営企画本部 人事・総務部
総務G 専任マネージャー

加藤 泰文

経協ニュース

広報部会を開催

2月4日(火)グランヴェール岐山にて開催し、8人の委員にご参加いただきました。

事務局より2024年度の活動実績を報告した後、2025年度の活動計画についてご審議いただきました。

また今後の事業運営として、各種事業の動画コンテンツの活用方法や拡充、機関誌「人と経営」についてご意見いただきました。



岐阜県キャリアガイダンスを開催

2月12日(水)と2月13日(木)に会場じゅうろくプラザにて、2026年3月以降に卒業予定学生さんを対象とした、業界研究会を開催致しました。

企業は2日間で計92社にご参加いただき、3月から始まる就活本番前ということもあり、参加学生は気になる企業や、関心をもったブースへ積極的に訪問し、担当者からの説明に対してメモを取りながら熱心に聞いていました。



連合岐阜との意見交換会を開催

2月12日(水)グランヴェール岐山にて、日本労働組合総連合会岐阜県連合会(連合岐阜)と、春季労使交渉・労使協議に向けた意見交換会を開催しました。

連合岐阜より、「2025春季生活闘争に関する要請書」が当協会に手渡され、その後、価格転嫁や賃上げ情勢等について意見交換を行いました。



岐阜県WEBキャリアガイダンスを開催

2月19日(水)オンライン(Zoom)にて、2026年3月以降に卒業予定の学生を対象としたWEB説明会を開催しました。

企業4社、学生20人にご参加いただき、事業の説明や企業の魅力について、各担当者より説明していただきました。



賃金と労働を考えるセミナーを開催

2月21日(金)、グランヴェール岐山において賃金と労働を考えるセミナーを開催しました。当日は50社71名にご参加いただきました。

第1講は「2025年春季労使交渉・協議における経営側の基本スタンス」をテーマに、(一社)日本経済団体連合会労働政策本部 主席主幹・山田 佑氏より、経団連発行の「2025年版経営労働政策特別委員会報告」のポイントについて解説していただきました。

第2講は「2025年度人事部の重要課題」をテーマに、西脇法律事務所の西脇 明典弁護士より、改正育児介護休業法、事業者間取引適正化等法、ハラスメント対策、障害者の差別禁止など2025年度の人事部の重要課題について留意を解説していただきました。



第54回新春経営者懇談会を開催 **西濃支部**

1月29日(水)大垣フォーラムホテルにて会場開催で約120名の方にご参加いただきました。

田口支部長、山口会長の挨拶の後、元ラグビー日本代表で、チタカ・インターナショナル・フーズの元社長の角日出夫氏をお招きし、「『リーダーが果たすべき役割』～チームワークの本質とは～」をテーマに講演いただきました。

経営者がリーダーシップを発揮し、チームワークを高めながら規律を重んじて組織運営をすることなど、その経験を基にお話いただきました。

揺るぎない信念を基にした角様のお話により、参加者の皆様は熱心に耳を傾けておられました。



第20回働き方改革セミナーを開催 **中津川支部**

2月6日(木)中津川商工会議所にて開催し、開講にあたり、橋口 正哉中津川支部長(三菱電機(株)中津川製作所 所長)にご挨拶を頂いた後、講師を井坂 泰成氏(合同会社ひとのわ 代表社員)にお務め頂き、支援型リーダーについて実践を交えながら学びました。

最後に『経営トップが望むリーダー像』と題して、林 彰中津川副支部長(DAISEN(株) 社長)より講話を頂きました。今回は企業7社から9名にご参加頂きました。



第2回セミナーを開催 **各務原支部**

2月7日(金)かとれあくらぶにおいて福田刃物工業株式会社 代表取締役社長 福田 克則様をお招きし、「利益を生み出す放任主義経営」というテーマで講演会を行い、参加企業11社(30名)にご参加いただきました。

セミナー終了後には茶話会を実施し、参加者の皆様と軽食を食べながら親睦を深めて頂きました。



ハラスメント防止体験セミナー VR体験とアンガーマネジメントを開催 **中濃支部**

2月20日(木)アピセ・関にて、講師にグループホーム てんじゅ所長 ケアびと育成Lab.主宰 平野 真弓氏、中部電力株式会社 総務・広報・地域共生本部 地域共生計画グループ専任課長 玉木 健二氏をお迎えし、会員企業より12社15名の方にご参加いただき、2部構成にて開催いたしました。1部ではパワハラ現場をVRで体験することで、実際の現場にいるような感覚でどういったものがパワハラに当たるかを理解することができました。2部では、上長としてパワハラにならないように、自分の中の「怒り」をコントロールするためのアンガーマネジメントを講師の実話をもとに現場のリアルな反応を踏まえ学びました。



開催案内

●初級管理者養成講座

日 時 2025年5月15日(木)～6月5日(木) 「全4講」

会 場 長良川スポーツプラザ(岐阜市長良福光2070-7)

費 用 当協会教育会員企業の在籍者 66,000円(10%対象60,000円+消費税6,000円)
当協会一般会員企業の在籍者 71,500円(10%対象65,000円+消費税6,500円)
当協会賛助会員企業の在籍者 88,000円(10%対象80,000円+消費税8,000円)

申込期限 2025年4月16日(水)

詳細・お申込はコチラ ➡



人と経営 3月号

(第74巻3号通巻570号) (2025年3月1日発行)

■編集発行人

広報部会長 堀 部 友 里

■発行所

一般社団法人 岐阜県経営者協会

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 TEL 058-266-1151 URL <https://gifukeiky.org/>

■印刷・製本

株式会社印刷工房 〒501-0597 岐阜県揖斐郡大野町下磯750-1 TEL 0585-36-0201